

浜の宮中学校 生徒の感想

今回の講話で日本には身近なところにたくさん戦争の跡があることを知りました。三宮駅には行ったことがありますが、そんなところまで見ていなかったのが機会があれば見てみようと思いました。そして、スライドを見ていてあんなに戦争をしていたことを知りとても驚きました。戦争をするたびに罪のない人たちが大勢亡くなって本当に心が苦しくなりました。私も「火垂るの墓」も「となりのトトロ」も見たことがあります。たしかにどちらも対照的な話で「トトロ」では笑顔が多いですが「火垂るの墓」は悲しい場面が多いのでなんともいえない気持ちになりました。長崎を最後の被爆地にする」ことはとても重要なことだと私も思いました。これ以上、戦争の被害者が増えないよう、私たちが過去について学び、同じ過ちをくり返さないように伝えていきたいです。

私は今日の講話を聞いて、戦争や空しゅうなど実際に起こったことをこれからずっと語りつないでいくことが大切だと分かりました。私たちは実際に戦争を体験していないし原爆も見えていないけれど、絶対に知らない人がいないようにしなければならぬと思いました。また、自分で知ろうとすることが大切だと分かりました。戦争については想像するだけで心が苦しくなるけれど、私たちが伝えていかないといけないと改めて思いました。戦争が起こってから日がたてばたつほど、実際に被爆した人が少なくなって語りつぐ人も減っていつてしまうけれど、絶対に忘れてはいけぬと思いました。だから、何度も考え直して伝えていくことが大切だと思いました。私は今日の講話で、被爆した日本には責任があると分かりました。日本で起こった出来事として終わらせてしまうのではなく、世界中で考え、戦争をなくし、平和を実現するべきだと思いました。毎日、私たちが平和に生きられていることはあたりまえではないと分かりました。でも、世界で起きている戦争をいっくも早く終わらせて、平和があたりまえになってほしいと思いました。太平洋戦争や沖縄戦では私たちが想像するよりずっと多くの人々が亡くなって人々が絶望したところから復興し、今日、日本で平和に生きられていることに感謝したいと思いました。

今日の三好さんの講話を聞いて、戦争は民族のちがい、宗教、領土問題などで対立し、昔だけでなく、今も続いている事は今も世界のどこかで身近な人が殺されたり、殺していたりする事実に胸がいたくなりました。そして、改めて私の身近にいる友達、家族などの大切さを感じました。神戸空襲の話では昔、私達が住んでいる所で私より小さい子達がいつ空襲がきてもいいよう、地上に伏せる訓練をしているのは今では信じる事ができないけれど、昔では普通だと思うとどんなに怖かったんだろうと思いました。姫路空襲から姫路城を守り、守られた事に少し感動しました。そして今日の三好さんの話を聞き一番強く印象に残っているのは「戦争を知らない中学生がもっと知らない小学生に語り継ぐ」で、今度は私や、私達が今の小学生や知らない人達に語り継ごうという意識をもちながら、長崎の修学旅行に行こうと思いました。

今回の平和学習講話を聞き、平和について、長崎で改めて考えたいと思いました。そして今回一番印象に残ったことは、「長崎を最後の被爆地にしたい」という思いです。三好先生が実際に機銃掃射などの写真も見せてくださりより恐しさを感じることができましたし、加古川駅の写真を見るのも初めてだったので、とても勉強になりました。神戸空襲や姫路空襲などが加古川から近い所なので決して他人事ではなく、一生考えていかなければいけないのだと思いました。高校生大使のスローガン、「ピリョクだけどもムリョクじゃない」もとても心にひびきました。私達が実際に長崎を訪れ、平和集会を行う時もこのような思いをもったのそんでいきたいと思いました。そして資料館ではもっと詳しいことを見て、聞いて学習したいなと感じました。戦争で苦しめられた全ての方々の想いを背負って長崎に行きたいです。そして平和を守るために私が今できることは、長崎や被爆者のみなさんへの理解をやめないことだと強く思いました。今日教えていただいたことをしっかり覚えて受け継いでいきます。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

三好先生、本日は貴重なご講話をありがとうございました。今までの平和学習では、広島、長崎などの原爆の被害を大きく受けた県の歴史を主に学んでいたのですが、兵庫県の戦争の歴史について知ることができ、とても良い時間になりました。戦争の被害を受けるのは何の関係もない子供達ばかりであることがとてもくやしいです。ですが、今までは「世界は広いから自分は無力だ」と思っていました。が、「ピリヨクだけどもリヨクじゃない」という言葉を聞き、無力だと思っただけでも、その力を合わせる大切だと感じることができました。「Trying to know, and to imagine」の言葉の通り、知ろうとし、想像する、きっとそれだけでも世界は少しよくなると信じ、繋げていきたいと思えます。言葉のちがい、価値観のちがい、この世界はたくさんの「ちがい」であふれていると思えます。ですがそのちがいを越えることが大切で、越えなければならぬことなのだと分かりました。ボルダーボーイズのようにそれを越え、武力ではない方法で戦い、後には共生への道を選んだんだ人だっていると知れて本当によかったです。語り継ぐ、忘れない、提案する、平和を守るということは、記者の方だけではなく、間違いなく私達もすべきことです。今日のお話を忘れず、修学旅行でより深い学びを得てきたいと思えます。本日は本当にありがとうございました。

今日の平和講演会で、戦争のない世界をつくるには、自分で調べたり、広島や長崎などの被爆地に足をはこんだりして、戦争のことをぜんぜん知らない人や周りの人達に私達が知ったことを伝えていくことが大切なんだなと思いました。私は広島や長崎、沖縄などで戦争があったことは知っていたけど、今すんでいる兵庫県でも戦争をしていたことは知らなくて、こんなことがあったんだとはじめて知りました。無知は罪なので自分から知ろうと学んで周りの人と共有したりしてすごしていきたいなと思いました。今日講師の先生が言っていた「Trying to know, and to imagine」の意味があまりわかっていないので家でしらべてみようと思いました。戦争があって「クスノキ」や「imagine」などのいろいろな曲がつくられていたと知って今まで聞いたことがある曲もあったので、そういう意味だったんだと知れました。今日学んだことはこれからも忘れないようにして修学旅行に行ったり、平和学習をしたいと思いました。本日は本当にありがとうございました。